



鉄道友の会 選定

2014年 島 秀雄記念優秀著作賞決定

- 単行本部門（2件） ※発行日順
 - ・ 浦田 慎（監修・貨物鉄道博物館）「貨車車票の歴史」（2013）
 - ・ 服部 重敬「名古屋市電」ネコ・パブリッシング（2013）
- 定期刊行物部門（2件） ※発行日順
 - ・ 斎藤 幹雄「ミャンマーへ行った日本型気動車 2013」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年5月号掲載）
 - ・ 北村 拓「西武鉄道の旧型国電研究」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年12月増刊号掲載）
- 特別部門（1件）
 - ・ 「車両側面のイラストによる一連の著作」（片野 正巳）に対して

鉄道友の会（会長・須田 寛、会員約 3,000 名）は、島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会（選考委員長・曾根 悟）による選考のもと、2014年島 秀雄記念優秀著作賞として、上記の単行本部門2件、定期刊行物部門2件、特別部門1件の合計5件を選定することに決定いたしました。

なお、贈呈式は、2014年9月23日を予定しています。

賞の趣旨、選定対象の解説、選定理由などについては、別紙をご覧ください。

2014年 島 秀雄記念優秀著作賞選定対象の解説・選定理由

■ 単行本部門（2件） ※発行日順

- ・ 浦田 慎「貨車車票の歴史」（2013）
- ・ 服部 重敬「名古屋市電」ネコ・パブリッシング（2013）

■ 定期刊行物部門（2件） ※発行日順

- ・ 斎藤 幹雄「ミャンマーへ行った日本型気動車 2013」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年5月号掲載）
- ・ 北村 拓「西武鉄道の旧型国電研究」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年12月増刊号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・ 「車両側面のイラストによる一連の著作」（片野 正巳）に対して

■ 単行本部門（2件） ※発行日順

浦田 慎「貨車車票の歴史」（2013）

本書は、貨物輸送の根幹をなした「貨車車票」の歴史的変遷について本格的に調査研究した著作です。著者は鉄道の創業期に遡って、また内地の国有鉄道（およびその前身の私設鉄道を含む）にとどまらず、外地の鉄道にまで拡大し、一般貨物から甲種輸送までの全貌を明らかにしています。本書ではカラーによる復元図も添えられており、また車票の解説やコラム欄も理解を助けています。それぞれの時代の貨物輸送の特徴とそれを反映した多種多様な車票の制定の経緯が当時の規定とともに解説され、鉄道愛好者にとどまらず物流・鉄道関係者にとっても史料価値が高い労作として島 秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

■ 単行本部門

服部 重敬「名古屋市電」ネコ・パブリッシング（2013）

本書は、上中下の全3巻で構成され、著者が実見した名古屋市電の廃止過程を中巻・下巻で解説し、それ以前を前史として上巻で紹介しています。特に中巻・下巻では、名古屋市電の廃止の経緯を路線別に時系列で並べ、それぞれの路線に関わった車両の解説を散りばめています。また、周辺の町並なども的確にとらえられ、鉄道史のみならず都市史の面からも得がたい資料になっています。世界のライトレールを国内で紹介する活動でも知られている著者が地元で密着したベテランとして名古屋市電を追い続け、随所に著者の持ち味が活かされた代表作として高く評価し、島 秀雄記念優秀著作賞にふさわしい作品として選定しました。

■ 定期刊行物部門

齋藤 幹雄「ミャンマーへ行った日本型気動車 2013」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年5月号掲載）

著者は、ミャンマーのほかインドネシアも含めて日本から譲渡された車両の状況について精力的に調査を行い、多くの関連するレポートを発表されています。調査が困難で、言葉の通じない現地で苦労を重ねながらまとめた一連のレポートは、国内で失われつつあるフィールド調査の重要性が再認識され、その意味でも高く評価されます。一方で、譲渡に伴いある程度予測されていた改造内容や稼働率の問題などに関しては、実態や理由が体系的に説明されるまでには至っておらず、今後これらの調査記録を活用し、問題意識に基づくより広い視野による研究発表が期待され、島 秀雄記念優秀著作賞にふさわしい作品として選定しました。

■ 定期刊行物部門

北村 拓「西武鉄道の旧型国電研究」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年12月増刊号掲載）

本書は、これまで多くの研究家が手がけながら不明確な点が多く残されていた西武鉄道の旧型国電について、国立公文書館で所蔵されている公文書や、先行研究に基づいて体系的に明らかにしています。内容が各論に偏りすぎている点や、他社との比較で西武鉄道が採った際だった違いの解明などが論じられていない点、これまで明らかになっていたことと著者が新規に発見したことの区別が曖昧になっている点などが惜しまれますが、先行研究では不確かであった車番や車体の形態に関する考察を深め、決定版とも言うべき車歴一覧表を作成したことは高く評価され、島 秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

■ 特別部門

「車両側面のイラストによる一連の著作」（片野 正巳）に対して

著者は、機芸出版社の定期刊行物である「鉄道模型趣味」誌で長期間にわたって活躍したベテランで、「陸蒸気からひかりまで」（機芸出版社／1965）、「私鉄電車プロファイル」（機芸出版社／1970）は車両側面のイラストの名著として知られています。近年も「吊掛賛歌」（ネコ・パブリッシング／2007）や「昭和鉄道見聞録」（ネコ・パブリッシング／2011）といった美しいカラーによる車両側面図を出版し続け、2013年にも「吊掛電車プロファイル」（ネコ・パブリッシング／2013）を出版されました。独特のタッチによる細密なイラストは味わい深いもので、特別部門として表彰するにふさわしい業績として選定しました。

島 秀雄記念優秀著作賞とは

島 秀雄記念優秀著作賞は、毎年 1 回、**鉄道分野に関する優れた著作物または著作物に関わる功績を選定し、鉄道および鉄道文化の発展に寄与することを目的として、2008 年に新設された賞です**(今回が 7 回目となります)。

賞の名称は、**鉄道友の会初代会長で東海道新幹線の実現に功績のあった島 秀雄氏(1901～1998)が、会の発展に尽くされた功績を永久に記念し、後進にとって励みとなる賞にするため、ご遺族の了解をいただいて、そのお名前を冠することとした**ものです。

賞の部門は、以下の通りです。

- 1) 単行本部門 …… 書籍の中から優秀な作品を選定します
- 2) 定期刊行物部門 ・ 定期刊行物に掲載された著作物の中から優秀な作品を選定します。
- 3) 特別部門 …… 単行本や定期刊行物以外の著作物で選考委員会が特に認めるもの、または著作物の企画、複製、展示、頒布、その他著作物に関わる功績を選定します。

賞の候補は、前年(今年は 2013 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日まで)に発行された著作物(日付は、単行本、定期刊行物とも当該著作物に記載された年月日を基準とします)を対象とします。なお、著作者は、鉄道友の会会員に限りません。

賞の選考にあたって、鉄道友の会に島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会を組織しました。賞のうち、単行本部門と定期刊行物部門は、鉄道友の会会員および選考委員会が指定する出版社が候補となる作品の推薦を行い、選考委員会を選定いたしました。また、特別部門の推薦および選定は、選考委員会が行いました。

なお、今年の島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会は、鉄道関係の著作物に精通した鉄道友の会会員 10 名(委員長・曾根 悟)で構成しました。また、今年の候補の推薦は、2014 年 1 月より推薦受付を開始し、2014 年 3 月 14 日に締切り、単行本部門 19 作品、定期刊行物部門 14 作品が推薦されました。

添付資料一覧 (併せてご覧ください)

- ・ 鉄道友の会のご紹介
- ・ 過去の選定作品・対象一覧

本件につきましてのお問い合わせは、下記宛にお願いいたします。

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4 丁目 7-16 第五 DMJ ビル 3 階 鉄 道 友 の 会 (本部事務局) 担当：大庭、小野田 Tel. & Fax. 03-5215-0305 URL http://.www.jrc.gr.jp/
